

科目名	観光研究ゼミナール	科目コード	1234	単位数	2
担当者名	細野 昌和	開講semester	第5semester	開講年次	3年次
授業の方法	演習	実務経験	無		

● 授業のねらい

生きた観光の多様な側面を実際に各自が体験して、課題や改善点を発見し、考察・解決する能力を身に付けることを目的とします。フィールド調査の企画をゼミ生の議論によって作成します。そのフィールド調査の結果・考察のプレゼンテーションの手段として、自ら見出したものを整理し、相手に分かりやすく表現する方法を学びます。原則として に継続します。

● 到達目標

実習を通じて、自らの視点で問題を発見し、調査を企画し、準備、フィールド調査、集計・分析と、主体的に一貫した作業をこなす能力を身につけます。

● 授業内容

- 1週目 ゼミの方針、スケジュールの説明などのオリエンテーション
- 2週目 観光研究文献の収集方法
- 3週目 観光研究文献の収集と講読
- 4週目 観光研究文献の分析
- 5週目 データ集計と分析方法（数値データ）
- 6週目 データ集計と分析方法（カテゴリーデータ）
- 7週目 フィールド調査に関するブレーンストーミング（対象分野）
- 8週目 フィールド調査に関するブレーンストーミング（調査トピック）
- 9週目 フィールド調査の企画（既存データ、先行事例収集）
- 10週目 フィールド調査の企画（調査方法、質問紙作成）
- 11週目 フィールド調査（前半地区）
- 12週目 フィールド調査（後半地区）
- 13週目 プレゼンテーション資料作成
- 14週目 第1回プレゼンテーションとディスカッション（前半グループ）
- 15週目 第2回プレゼンテーションとディスカッション（後半グループ）
- 16週目 総括ディスカッションとまとめ（ただし、止むを得ず15週までの授業内容を実施できなかった場合は補講授業を行います）

● 準備学習(予習・復習)等の内容

ゼミ実習は教室の中だけで行われるものではなく、課題に沿った学内外での積極的な活動を通じて目標を達成します。また、多くの作業はゼミのメンバーの協力が進めます。そのため、授業以外の時間に、フィールド調査や打ち合わせ、データの取りまとめ等が発生します。これは、他の授業での予習と復習に相当します。

● 成績評価の方法・基準

授業実習における積極的な参加、役割遂行など平常点と、プレゼンテーションおよびレポートから評価します。

● 履修上の留意点

積極的に観光場面に外向き体験することが必要です。ゼミの時間は、主にそのまとめ方と報告の方法の習得と、実際の作業にあてられます。なお、グループで作業を進めることが原則のため、無断欠席は認められません。

● 課題に対するフィードバックの方法

ゼミの成果は、プレゼンテーションに集約されます。そのプレゼンテーション内容について、優れているところ、改善が求められる個所など、指導する立場から総合的に所見を述べます。

● テキスト

B.フィンドレイ著『心理学 実験・研究レポートの書き方』北大路書房 1,404円+税

● 参考書

大藪多可志編『観光と地域振興』海文堂 2,592円+税

● 更新日付

2020/03/04 09:33